

About UNITEX Corporation

企業名：株式会社ユニテックス 代表取締役社長：小杉 恵美
 資本金：9,000万円 本社所在地：東京都町田市
 事業内容：当社は、様々な業界・業種のデジタルデータを保存するためのハード/ソフトウェアを開発、製造、販売しているIT企業です。1990年の創業以来、「世の中にないものを創る」という企業理念を掲げ、世界唯一の製品をはじめとしたユニテックスにしかできない、お客様にとって最適な自社開発製品・ソリューションを提供しています。



ユニテックスからのお知らせ

BREAKING NEWS

UNITEX サブスクリプションサービス

初期投資を抑えたい

一定期間内で機密データの移行・変換を自社で行いたい

固定資産を増やしたくない

→ 当社のサブスクリプションサービスをご利用下さい！

メリット

- ご使用の目的に合わせて、レガシーメディアから最新メディアに対応した各種システムをご選択頂けます。
- 月額/年額/複数年契約でご利用可能です。
- 12x365, 24x365の保守サポートもお付け頂けます。

ご利用についての詳細は sales@unitex.co.jp までお問い合わせ下さい



設備導入時の固定資産税軽減措置制度

中小企業経営サポートを目的とした「**経営力向上設備等導入制度**」、「**先端設備等導入制度**」により固定資産税の軽減や税額控除が受けられます。当社データストレージシステムご購入検討の際に、是非ともご活用ご検討下さい。当社からは申請に必要な工業会証明書を発行させていただきます。詳細は下記 URL よりご確認ください。

経営力向上設備等導入制度（即時特別償却 100%、税額控除 7%～10%）
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/index.html>

先端設備等導入制度（固定資産税が3年間にわたりゼロ～1/2に軽減）
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/seisansei/index.html>



お問い合わせ・ご相談は **株式会社 ユニテックス** <https://www.unitex.co.jp>

【本社】〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル
 【相模事業所】〒252-0305 神奈川県相模原市南区豊町15-3 ユニテックス第二ビル
 〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野7-7-2 ユニテックス第三ビル

【TEL】(050) 3386-1242 【FAX】(042) 710-4660

※ 記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがありますのでご了承ください。



UNITEX Multi-angle Storage Solution



プロスポーツ業界における動画や写真、GPS やセンサ情報、チケット・グッズ販売といった大量のデータ管理&利活用をより簡単に、より安全に行えるソリューションがラインナップ。



第1回 スポーツテック EXPO

スポーツの「見る」、「する」、「支える」テクノロジーが展覧

スポーツ選手のデータは、
すべてが失えない財産です。
だからこそ誰でも、簡単に、
安全に管理できるシステムを。

【データの保存と利活用】

- さまざまなデータを保存する適切なストレージ選び
- 「サイバー攻撃」「SDGs」「使い勝手」をカバーする大容量ストレージ
- 過去のデータと比較することで「いま」と「これから」が分かる



【UNITEX だけからできること】

- AIによる顔・背番号識別での自動分類画像保存&検索
- ランサムウェアなどのサイバー攻撃対策としてLTOテープへ簡単・安全にデータ保存・管理
- BD/DVD/CDのデータおよびレーベル面を全自動読込するマイグレーション



株式会社ユニテックスはFC町田ゼルビアの
オフィシャルクラブパートナーです

データの保存と利活用

いま採用しているデータの保存・管理方法は
簡便性・安全性ともに万全でしょうか？

➤ データを保存する際、データの利用頻度や容量に合わせた適切なストレージ選びがとても重要です。



PCのHDD/SSD



CD/DVD/Blu-ray



SDカード



USBメモリ



クラウド



LTO (磁気テープ)

- あまり使わないデータ（コールドデータ）の割合は、コンピュータ上の50～80%といわれ、コールドデータを上手に保管することがデータ保存のキーポイントといっても過言ではありません。
- コールドデータには、1巻のカートリッジに最大18TBまで保存できるLTOがおすすめです。どのデータが必要かどうかを取捨選択することなく残せるのに加えオフライン管理できるため、万が一のサイバー攻撃でも復元することが可能です。
- たとえば毎日使うデータはPCのHDD/SSDに保存、外部の方と共有したいデータはクラウドに保存、あまり使わないけれど残しておきたいデータはLTOに保存、というように用途に合わせてストレージを上手く組み合わせた「ハイブリッドストレージ」を採用することにより、パフォーマンスもコストも最適化することができます。

➤ 過去のデータと比較することで「いま」と「これから」が分かります。

- 昨今、スポーツ業界においてもさまざまなデータの取得を行っており、かなりのデータ量が蓄積されています。
- 過去と現在を比べることで、選手の成長やスキル、パフォーマンスの向上度合いなど、さまざまなものが数値化され、今後についても予測可能となります。



動画・画像



バイタル



GPS (試合会場など)



パフォーマンス

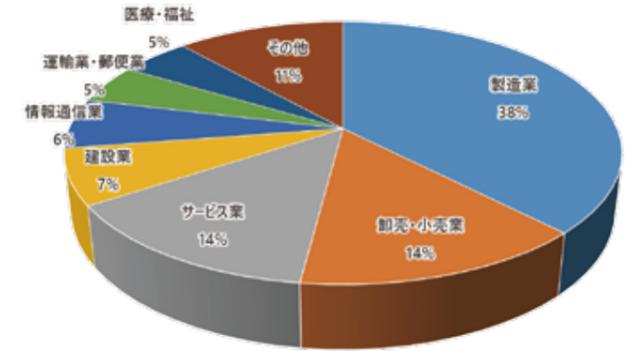
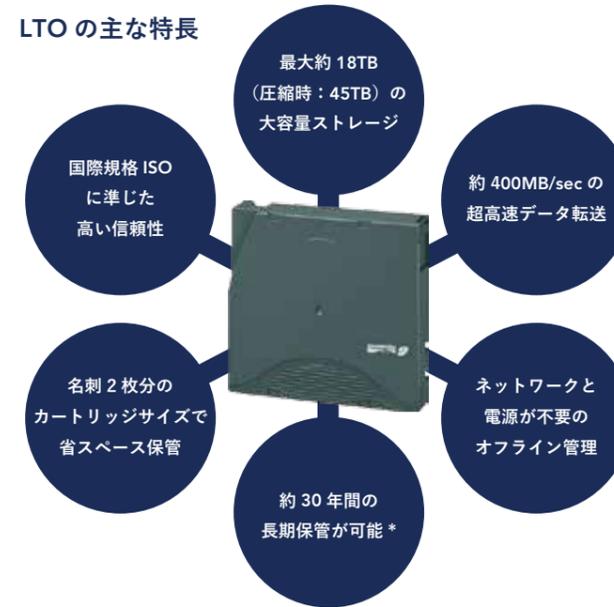


センサー

➤ 日本でも増加している「サイバー攻撃」への備え、そして「SDGs」等の環境問題への取り組み。これからの時代に欠かせないストレージが、LTOテープです。

- LTOテープは大容量のデータをオフラインで保管可能。HDDやSSD等のように常時通電の必要がなく、使用するLTOテープだけをドライブにセットするため、大型の仕組みは必要ありません。
- IPAが発表した「情報セキュリティ10大脅威2021」の組織向けランキング1位はランサムウェア。HDDやSSD、NASなど、常にアクセス可能なオンラインストレージは好適的ですが、ランサムウェア被害企業・団体等の業種別報告件数は、製造業が38%と最も多く、サービス業が14%、卸売・小売業が14%、建設業が7%、情報通信業が6%、運輸業・郵便業が5%、医療・福祉が5%、その他が11%と報告されています。

LTOの主な特長



ランサムウェア被害企業・団体等の業種別報告件数

※令和3年ランサムウェア被害件数：146件

※出展：警視庁広報資料

『令和3年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について』

ディスクシステム

CO₂ 排出量 / 消費電力 **多**

サーバー HDDドライブ

大容量データ保存のためにハードディスクドライブ等で構成される従来型システム

UNITEX USB LTOシステム

CO₂ 排出量 / 消費電力 **少**

LTO USB

大容量データの長期保存に最適なLTOテープ (1巻最大45TB) へのデータ保存システム

ディスクシステムに比べて、同じデータ量を保存する際、UNITEX USB LTOシステムは **CO₂ 排出量、消費電力ともに約94%* 削減します**

* 出典元：JEITA テープストレージ専門委員会 480TBのライブラリ装置とディスク装置が排出するCO₂量、消費電力を基準に算出

UNITEX だけからできること

プロチームで実際に運用いただいている実績をもとに、皆さまが理想とするデータストレージをご提供します。

➤ ノートPCとUSB接続LTOテープ装置、アーカイブソフトウェアをセットにしたスモールスタートモデル『LTASシリーズ』。



● このシステムのみでLTOのアーカイブが始められるエントリーモデルです。もちろん、いまお使いのPCやシステムと接続することも簡単にできます。執務室などマシンルーム以外でも利用でき、さらに構成の拡張性にも優れ、内部の管理データ移行も可能です。

● 最大4つのアーカイブ先へ同時保存が可能に。取り出されたオフラインメディアのアーカイブデータも、ファイル名やフリーワードで検索可能。管理データのインポート/エクスポートにも対応しています。

➤ CD/DVD/Blu-ray 連続200枚読み込み・書き込みが可能、レーベル印刷からマイグレーションまで可能なマルチ光ディスクシステム。



● PC等が必要なく、これ一台で利用可能。データの読み込み、光メディアの作成、レーベル印刷まで簡単なタッチパネル操作により全自動で行います。

● レーベルスキャナ搭載モデルは、読み込み時にレーベルイメージと記録データの両方を読み取ることができ、さらにUNITEX ArchiveLTと連携し、読み込みながらLTOやHDD、長期保存対応Blu-rayなどにアーカイブもできます。

FC町田ゼルビア様：導入事例

STAGE 1：過去資産のアーカイブ



30年以上にわたり地元のサッカークラブとして選手の育成に力を入れてきたFC町田ゼルビア様では、これまでのデータをCDやDVDで保存。クラブハウスの一新に伴い、その膨大な量のデータを整理するため、弊社のマルチ光ディスクシステムを利用して最新のLTOに集約する「LTOマイグレーションサービス」をご利用いただいております。また、同時に最新の選手画像、さらに広報資料なども含めたデータもクラウドを併用しながら、誰でも簡単に、安全にLTOにアーカイブできるシステムを導入いただき、ご活用いただいております。



STAGE 2：AIを活用した顔・背番号識別によるデータ整理

FC町田ゼルビア様より、アーカイブ作業中に選手の画像を振り分けるのに手間がかかるので何か解決策がないかという相談を受けました。そこで弊社ではAIに顔・背番号を学習させて自動で各選手のフォルダに画像を振り分けるシステムを開発。今後も使用している際にお客様のニーズにお応えしながら、より良いアーカイブ環境づくりを行ってまいります。

